

新たな時代の 新たな社会福祉

—いま、何が必要とされ、何ができるのか—

2021年6月5日(土) 13:00~17:00

Zoomによるオンライン開催

大会参加費: 無料



1 プログラム

■ 開会式 ————— 13:00~13:20

■ 基調講演 ————— 13:20~14:20

テ — マ: 新たな時代の新たな社会福祉 — 『地域共生社会』 議論の批判的検討を通じて —
講 師: 松端 克文 (まつのはな かつふみ) 氏 (武庫川女子大学 教授)

■ シンポジウム — 14:30~16:50 (休憩を含む)

テ — マ: 新たな時代の新たな社会福祉 — 拡大するニーズ、求められるレベルにどう応えられるのか—

シンポジスト: 福岡市社会福祉協議会 馬男木 幸子氏 / そーしゃる・おふいす 山口 千恵氏
西南学院大学キリスト教活動支援課 山口 由美子氏 / アジアに生きる会・ふくおか 井上 幸雄氏

コメンテーター: 松端 克文氏 (武庫川女子大学教授)

コーディネーター: 倉田 康路 (西南学院大学教授)

■ 閉会式 ————— 16:50~17:00

自由研究発表 (第62回研究大会ホームページ上による紙面発表、会員のみ)
2021年6月5日(土) 13:00(公開)~6月13日(日) 24:00まで





趣旨

社会福祉は一人ひとりの人間と、その人間が存在する社会を結びつけたなかで展開されます。人の生活や、生きている社会は、時代とともに変化します。昭和、平成、そして令和へと移るなかで、それぞれの時代に生じた社会的事象を背景としながら、それぞれの時代に応じた社会福祉が形成されていくことになります。

社会福祉の対象となる人たちが、限定された特定の人たちとされる時代は終わり、生活上に問題を抱え、その軽減、改善、解決にむけて社会的な支援が必要とされる人たちは、産まれてから死ぬまでのライフサイクルの視野から、また、常に変化する社会情勢においてはすべての人たちが当事者となります。

本大会においては「新たな時代の新たな社会福祉」をテーマとして掲げ、いま、社会福祉には何が必要とされ、そして、何ができるのか、社会福祉学の視点から、また、社会福祉実践の視点から模索していきたいと思います。

2021年3月

第62回研究大会実行委員長 倉田 康路

日本社会福祉学会九州地域ブロック理事 村山浩一郎

主催：日本社会福祉学会九州地域部会第62回研究大会実行委員会

日本社会福祉学会九州地域部会 日本社会福祉学会

後援(予定)：福岡県社会福祉士会 西南社福の輪



大会参加申し込み方法

5月21日(金) 締切

日本社会福祉学会九州地域部会第62回研究大会ホームページ

(<https://sites.google.com/view/fukushi62kai/>) の参加申し込みフォームに
必要事項を入力の上、申し込みをしてください。

※事前に参加を申し込まれた方のみ、参加できます。大会当日の参加申し込みはできません。

問い合わせ先 日本社会福祉学会九州部会第62回研究大会事務局

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2-92

西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 担当：河谷 はるみ・倉光 晃子

TEL 092-823-4213 (河谷研究室) FAX 092-823-2506 (学術研究所)

E-mail fukushi62kai@gmail.com (大会事務局)